

## ■ AMC学修成果ルーブリック（2024年度～）

基準		尺度		十分に到達している	満足できる (DP達成)	努力を要する
① 知識・技術	健康を多面的に理解することができる。	A	身体	身体の健康に関する知識を十分に理解し、健康生活のための維持・増進の説明だけにとどまらず、生涯の健康を見据えた身体の健康の価値についても説明することができる。	身体の健康に関する知識を理解し、健康な生活のための維持・増進、また疾病予防や対処法も含めて具体的に説明することができる。	身体の健康に関する知識は持っているが、理解が不十分なため、健康な生活のための維持・増進、また疾病予防や対処法も含めて説明することができない。
		B	心	心の健康を理解し、説明することができる。	心理学についての基礎知識や背景について理解し、多様な社会の中で発生する人間の心の健康の問題に心理学的な見解をもって、対処する仕方について説明することができる。	限定された心理学についての基礎知識や背景について理解しているが、人間の心の健康にそれらがどのような影響を持っているかを総合的に説明することができない。
		C	社会	多様な人々が暮らす社会を理解し、説明することができる。	日常生活において価値観や文化的・社会的背景の違いによってもめ事や摩擦などが生じる過程について理解し、それらに対応できる制度等について説明することができる。	世の中に様々な価値観を持つ人がいることを理解しているが、その相違と背景、多様な個人が全体として一つの社会を形成していることを説明することはできない。
② 汎用的能力・技能	科学的に思考することができる。	A	科学的思考の基礎	科学的思考を育成する基礎として課題を発見する力、論理的に考え判断する力を身につけている。 →課題発見力、原因究明力	様々な出来事に対して課題を発見・認識し、明確な根拠を基に論理的に説明する力がある。	身近な出来事に対し、疑問を持つことはできるが、論理的に説明する力が不十分である。
		B	科学的思考のためのツール活用力	科学的思考を実践するためのツール活用力を身につけている。 →ITスキル、語学力、分析力、判断力	情報機器や情報ネットワークを活用して、情報を収集することができる。情報の信憑性や妥当性、価値を識別する適切な判断力・分析力が備わっている。	情報機器や情報ネットワークを活用して情報を収集することはできるが、取捨選択したり整理したり、価値付けることができない。
		C	科学的思考の活用	様々な出来事に対する疑問を主体的かつ論理的に解決する力を身につけている。 →問題解決力、論理的説明力	課題の原因の追求とその解決にあたり、根拠を基に多視点から考察でき、最善策を選択し、解決することができる。	課題の原因の追求とその解決にあたり、十分とは言えないが根拠を基に解決策を見つけることができる。
③ 態度・志向性	自己を管理し、目標を立てて行動することができる。	A	PDCA	自律的に、組織的に目標をかけた、計画を立てて実行し、客観的なデータを基に振り返り、改善するサイクルを繰り返すことができる。	自律的に、個人的な目標をかけた、計画を立てて実行し、振り返り、改善するサイクルを繰り返すことができる。	目標をかけた達成すべく、計画を立てて実行し、振り返り、改善するのに周りの人の支援を要する。
		B	自分の健康づくり	自分の健康づくりの目標を持ち、その実現に向けて自ら考え、積極的に行動することができる。	自分の理想的な心身状態や社会における在り方を思い描き、心身面、社会面の現状を分析して、課題を見出し、解決策を積極的に実行することができる。	自分の心や身体の健康状態を良好に保つことを志向し、継続的に行動することができる。
		C	チームワーク	健康な組織・集団の構築に向けて、チームワークを大切にし、リーダーシップを発揮することができる。	仲間と自分の役割や考え方を大切に、様々なコミュニケーションをとりながら協力・協働して物事に取り組み、組織の成長につなげることができる。	組織の目標達成のために割り振られた自分や仲間の役割を理解してはいるが、状況に応じて自ら判断して仲間を支援する行動をとることができない。
④ 総合的活用	社会を意識して行動することができる。	A	社会貢献への認識と実践	社会貢献や地域活動等において、心身面や社会面で健康であることの意義を語り、共感を得て、活動を展開していくことができる。	社会貢献や地域活動等において、対象者や参加者に対して健康であることの意義を語る事ができる。	健康に関する社会貢献活動や地域活動に参加することがある。
		B	健康論の確立	生涯を見据えて健康について自分なりの考えを確立させ、他者や社会に向けて発信できる。	自ら確立した具体的な健康論を基にして、健康な社会の実現に向けて、課題を解決するためのアイデアを他者や社会に実行可能なかたちで示すことができる。	学修によって得られた知見を基にして、自分なりの健康論について考えを持っているが、他者に説明できるほど具体的な提案には至っていない。

■ 総合的活用のコース別表現

基準		尺度		
		十分に到達している	満足できる (DP 達成)	努力を要する
養護・保健	心身と疾病に関する基礎知識を有し、身体と心の健康づくりをサポートできる。	心身と疾病に関する基礎知識を活かし実践活動へと発展させることができる。リーダーの役割を担う力を有し、周囲の人々の身体と心の健康づくりをサポートができる。	心身と疾病に関する基礎知識を有し、社会的に身体と心の健康づくりのサポートができる。	心身と疾病に関する基礎知識を有しているが、社会的に身体と心の健康づくりをサポートするにはまだ不十分である。
健康スポーツ	運動・スポーツ及び健康に関する基礎的・専門的知識や指導力を有し、科学的思考を基に健康づくりをサポートできる	運動・スポーツ及び健康に関する知識・技能を活用できる実践力があり、リーダー的な存在として健康づくりをサポートできる。	運動・スポーツ及び健康に関する知識・技能を有し、総合的に健康づくりをサポートできる。	運動・スポーツ及び健康に関する知識・技能を有しているが、実践力が十分になく限定的な健康づくりをサポートできる。
心理・カウンセリング	「心」についての科学的な知識を修得し、「心の健康」を育成・発展させる実践力を持ち、それらの知見を活用して健康な社会の実現のために貢献することができる。	「心」についての知識を修得し、「心の健康」を育成・発展させる多大な実践力を持っている。それらの知見を活用して、心理学の観点から課題を捉え直し、他者への働きかけにより、健康な社会の実現のために貢献することができる。	「心」についての知識を修得し、「心の健康」を育成・発展させる実践力を持っている。それらの知見を活用して心理学の観点から課題を捉え直すことで、自ら行動し健康な社会の実現のために貢献することができる。	「心」についての知識を部分的に修得しているが、心の健康を育成・発展させる実践力はまだ育っていない。したがって、健康な社会の実現のために心理学の知見を活用して課題を捉え直す力は不十分である。
健康科学	健康な社会の在り方を深く理解し、健康な社会の実現のために科学的根拠に基づいた実践力を発揮できる。	社会を多視点から科学的に捉え、健康な社会を理解し、科学的根拠を尊重し、健康な社会を目指すことができる。	社会を多視点から科学的に捉え、多様な価値観の存在を受容し、健康な社会の実現に向けて、科学的根拠を基に積極的に寄与することができる。	社会を多視点から捉え、健康な社会をイメージし、その実現を目指すことができる。

# 愛知みずほ大学 コモンルーブリック

愛知みずほ大学では、レポート、プレゼンテーション、グループワーク、実技の4つの学習課題について、皆さんが到達すべき具体的な姿を示した「コモンルーブリック」を作成しました（実技に関してはサッカー競技の例を示しています）。各授業で活用される際には、教員によりこの表に従って課題の到達度に対する評価が行われますので、学生の皆さんはルーブリックを課題に取り組む指針とすることができます。なお、「コモンルーブリック」は卒業までに学生が身に付けることが期待されるレベルを想定して作成されていますので、各授業で活用される際には、教員により観点毎に期待値が設定されます。また、科目の到達目標や課題の内容に応じて、新たな観点を加えるなどアレンジが行われることがあります。

## (1) レポートの評価基準と期待値

レベル 観点	3	2	1	0	期待値
内容理解	①課題を理解し、指示どおりにレポートの内容を構成している。 ②課題に係る専門用語や問題背景を正確に理解している。	①・②がおおむね達成できている。	①・②のいずれかを達成している。	①・②のどちらも達成できていない。	
論理構成	①結論と根拠が明示されている。 ②自身の意見を表明し、課題に係る考察を深めている。 ③レポート全体の主張が一貫している。	①～③のいずれか2つを達成している。	①～③の1つしか達成できていない。	①～③のどれも達成できていない。	
精緻性	①誤字脱字のない文章である。 ②主語や述語の関係など、文法が的確である。 ③文体が統一されている。	①～③のいずれか2つを達成している。	①～③の1つしか達成できていない。	①～③のどれも達成できていない。	
引用方法	引用、参考に関しては、瀬木学園紀要投稿規定の「引用文献の表記方法」を基本に、関係領域の引用方法を正確に守っている。	引用・参考の仕方が間違っている。	引用・参考の注釈がない。	引用・参考がない。	

## (2) プレゼンテーションの評価基準と期待値

レベル 観点	3	2	1	0	期待値
内容	①明確で洞察に値する課題を発見し、その理由を具体的に説明できる。 ②課題に関して適切な方法で先行文献を調べ、調査、実験等を行う。 ③課題について探求した結果を深く洞察、分析している。	①～③のうち、2つはできている	①～③のうち、1つはできている	①～③、すべてできていない。	
構成	①明確な論点、テーマを明示している。 ②理論的に構成されており、結論に関して明確な論拠を示している。 ③適切な具体例等を明示している。	①～③のうち、2つはできている	①～③のうち、1つはできている	①～③、すべてできていない。	
発表資料	①適切な大きさの文字を使用している。 ②図表が的確に使用されている。 ③説得力のある資料である。	①～③のうち、2つはできている	①～③のうち、1つはできている	①～③、すべてできていない。	
発表姿勢	①聴衆を見ながら発表ができている。 ②十分な声量で発表ができている。 ③適切なスピードで発表ができている。	①～③のうち、2つはできている	①～③のうち、1つはできている	①～③、すべてできていない。	
発表時間	時間配分が適切である。	ほぼ、時間内である。	時間が少し超過している。あるいは少し短い。	時間を大幅に超過している。あるいは大幅に短い。	

(3) グループワークの評価基準と期待値

観点	レベル	3	2	1	0	期待値
話し合いへの参加		話し合いを進めるような発言を積極的にしている。	話し合いに関連する発言をしている。	話し合いの場に参加している。	話し合いの場に参加していない。	
話し合いへの参加促進		他のメンバーが発言できるよう話し合いの流れを作り出すことで、メンバーの積極的参加を促している。	メンバーの発言を整理し、関連付けた上で発言するなどして、メンバーの積極的参加を促している。	あいづちを打つ、頷くなどして理解を態度に示すことで、メンバーの参加を促している。	他のメンバーの話聞いていない。	
グループワークの個人貢献		グループワークに積極的に参加して、課題の達成に多大な貢献ができています。	グループワークに参加し、課題の達成に貢献ができています。	グループワークに参加して作業の遂行に協力している。	グループワークに参加せず、作業を手伝っていない。	
グループの雰囲気づくり		積極的にグループの雰囲気を良くしようと、雰囲気が悪くなった時には、それを解消しようとしている。	雰囲気を良くするために、自ら発言や行動をし、メンバーをサポートしている。	雰囲気が良くなるようにメンバーに合わせた発言や行動をしている。	雰囲気を悪くするような発言や行動をしている。	

(4) 実技の評価基準と期待値 【「野外活動・レクリエーション実践（サッカー）」】

観点	レベル	3	2	1	0	期待値
健康管理	①体調管理	気力が充実し体調万全で参加している。	体調を整えている。	特に気を付けていない。	気力が不十分であったり、体調を崩しやすく欠席、見学が多い。	
	②ケガ・病気の予防	準備体操や整理体操、水分補給等にしっかりと取り組むことができている。	準備体操や整理体操、水分補給等に概ね取り組むことができている。	準備体操や整理体操、水分補給等への取り組みがあまりできていない。	準備体操や整理体操、水分補給等への取り組みが全くできていない。	
運動技能	①リフティング	連続して男子 20 回、女子 10 回以上行うことができる。	連続して男子 10 回、女子 5 回以上行うことができる。	連続して男子 5 回、女子 3 回以上行うことができる。	連続して男子 5 回、女子 3 回以上行うことができない。	
	②インサイドパス	対人相手と連続 20 回以上正確にパスを行うことができる。	対人相手と連続 10 回以上正確にパスを行うことができる。	対人相手と連続 3 回以上正確にパスを行うことができる。	対人相手と連続して 3 回以上パスを行うことができない。	
競技知識	①ルール理解	サッカーのルールを詳細まで理解して審判を行うことができる。	サッカーの細かいルールも理解している。	サッカーの主なルールは理解している。	サッカーのルールを理解していない。	
	②練習計画の作成	グループでの練習計画の時間配分や練習内容が適切で参加者の満足度が高い内容を検討している。	グループでの練習計画作成において、参加者が概ね満足できる内容を検討している。	グループでの練習計画作成において、概ね時間通りに練習が進められている。	グループでの練習計画作成において、時間配分、内容ともに不備があり内容が理解できない。	
社会的行動	①リーダーシップ	グループ内で練習、試合中に効率よく明確に指示することができる。	グループ内で練習、試合中に指示を伝えている。	グループ内で練習、試合中にあまり指示を伝えていない。	グループ内で練習、試合中に全く指示を伝えていない。	
	②協調性	グループ内のチームメイトに声掛けなどをしながら良く協力しあっている。	チームメイトと同調し和を乱さず協力している。	概ねチームメイトと協力できている。	自分勝手な行動があり、協力できていない。	
	③積極性	好奇心を持ち積極的に挑戦し成し遂げることができている。	前向きに取り組む努力している。	挑戦しようとしているが、あきらめることが多い。	挑戦せず、できないと決めつけている。	